



スキー場諸元

名称：谷川岳天神平スキー場

総面積	50 ha
コース数	10 本
標高差	744 m (746m-1,490 m)
最大斜度	39 度 (田尻沢A)
リフト総延長	3,835 m
リフト数	5 基
事業者	谷川岳ロープウェイ(株) (主要株主：(株)星野リゾート100%)
開業時	谷川岳ロープウェイ(株) (主要株主：東武興業(株) 100%)

谷川岳を一望できる、パウダースノーゲレンデ。

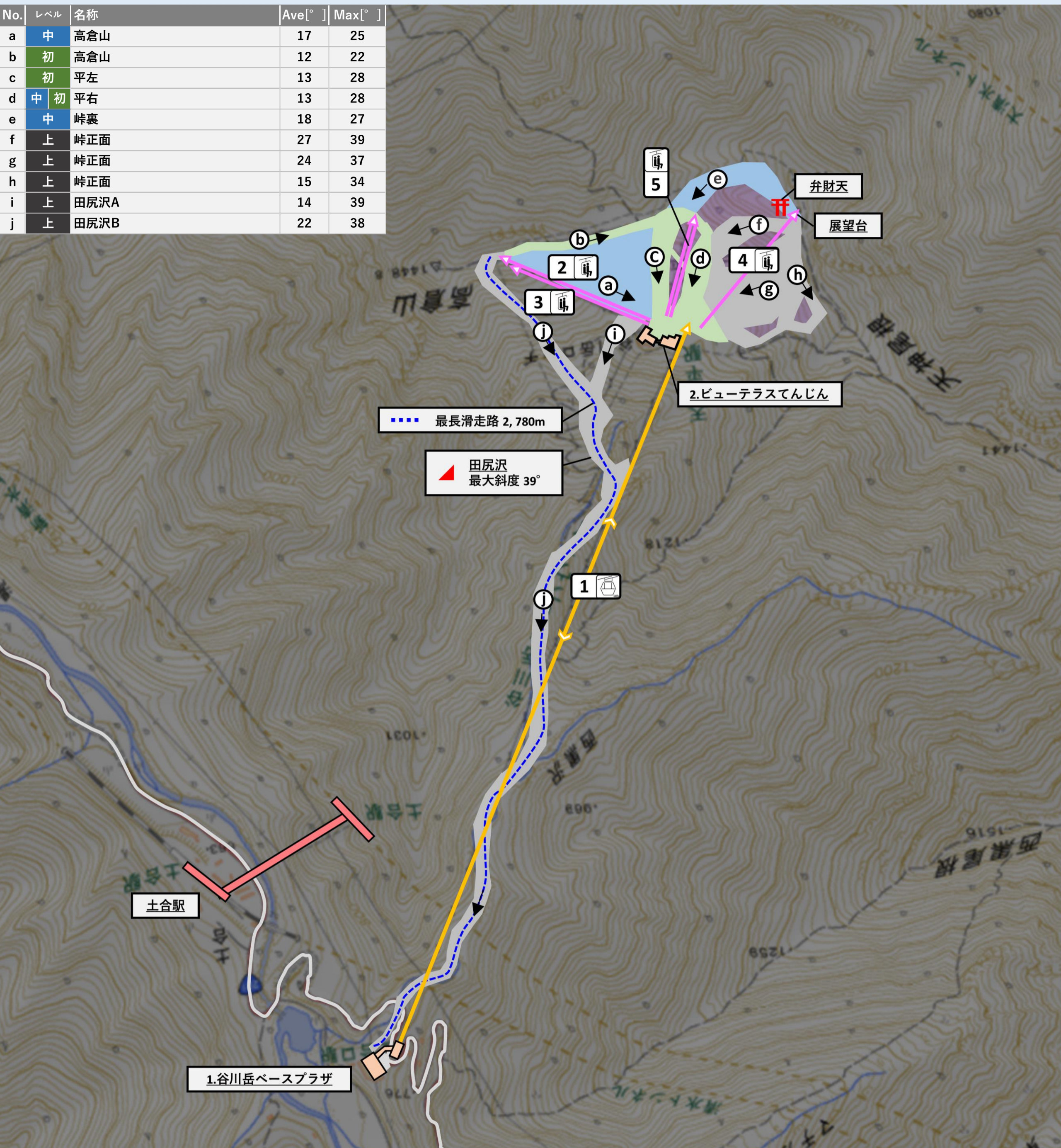
天神平スキー場は、日本一のもぐら駅「JR土合駅」近くにある谷川岳ロープウェイを登った先に、ワイドで開けたゲレンデを持つスキー場。標高が高い位置にメインゲレンデを有しているため、滑走期間が長くかつ降雪量の多さからパウダースノーを多く楽しむことができる。また、ゲレンデは非圧雪が主体となっているため、初級者が滑れるエリアは少なく、天神平リフト周辺のみとなるが、谷川岳の近くにスキー場が位置するため、晴れた日は景色が素晴らしくウィンタースポーツをしない方にもロープウェイを使って山頂に行くことを強くおすすめする。なお、長らく東武グループが運営を担ってきたが、2024シーズンより運営が変更となり、星野リゾートとなった。星野リゾートとなり、リフト1日券の値段が2000円近くUPしたが、洪水により滑走不可となっていた田尻沢コースを復活させたりと、今後の動向に期待が集まる。

例年3月初旬に天神峠リフト正面右側で日本一とも呼ばれる「天神バンクドラローム大会」も行われている。



コースマップ

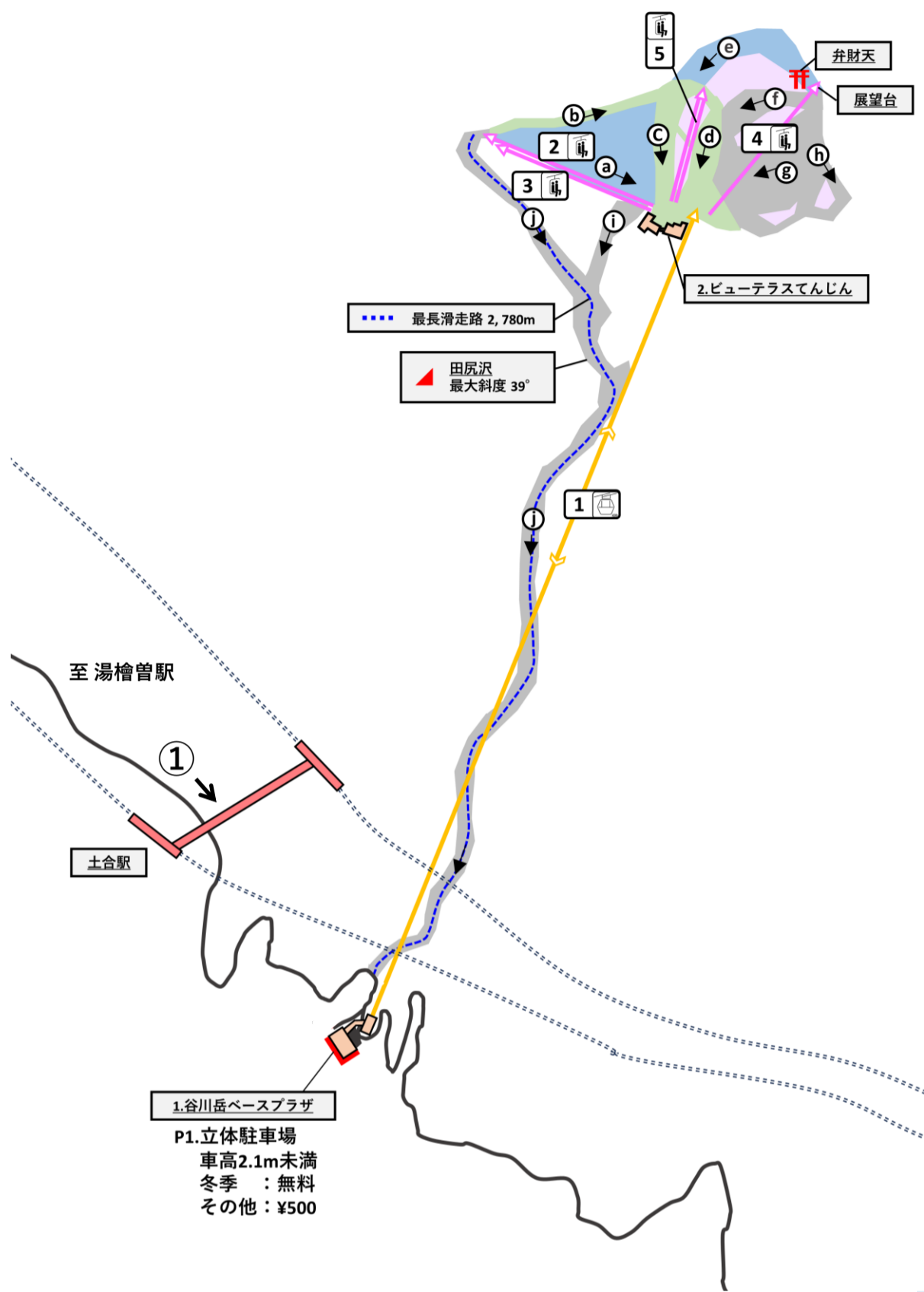
No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	中	高倉山	17	25
b	初	高倉山	12	22
c	初	平左	13	28
d	中 初	平右	13	28
e	中	峠裏	18	27
f	上	峠正面	27	39
g	上	峠正面	24	37
h	上	峠正面	15	34
i	上	田尻沢A	14	39
j	上	田尻沢B	22	38



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	22	FUN	-	谷川岳ロープウェイ	2,400	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>	746	1,319	573	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>
2	2	CLF	-	高倉山第1リフト	405	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>	1,308	1,433	125	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>
3	2	CLF	-	高倉山第2リフト	346	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>	1,308	1,410	102	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>
4	2	CLF	-	天神平リフト	256	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>	1,316	1,378	62	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>
5	2	CLF	-	天神峠リフト	428	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>	1,319	1,490	171	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #00a0e3;"></div>

■ : 連絡線 ▲赤字 : 休止中

駐車場情報



P1. 立体駐車場

時間(平日)	1Fのみ夜間開放
(休日)	1Fのみ夜間開放
料金(平日)	無料
(休日)	無料
収容台数	1,000台以上

グリーンシーズンは乗用車¥500
車高2.1m以上進入不可
車高2.1m以上は、屋外(6F)に駐車可

▼立体駐車場



▼谷川岳ベースプラザ(立体駐車場)と屋外駐車場



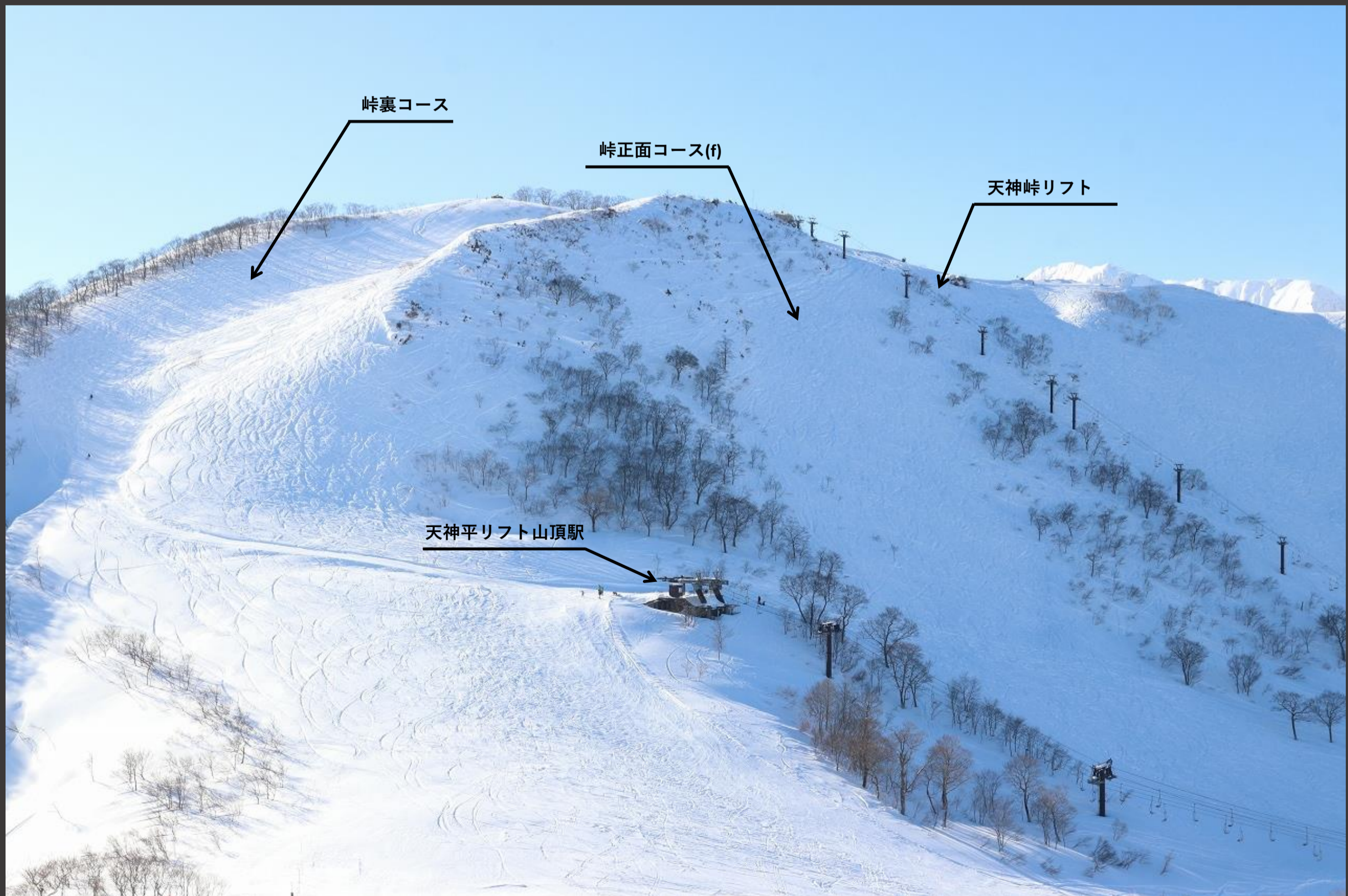
▼立体駐車場内



▼アクセス路(土合駅付近)









1.谷川岳ロープウェイ



線路諸元

名称：TANIGAWADAKE ROPWAY

方式	複式単線自動循環式普通索道
傾斜長	2,400 m
高低差	573 m
輸送能力	1,164 p/h
回転方向	時計
支柱数	9 基
速度	6.0 m/s
定員	22 名
搬器	ZETA
原動出力	630 kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	2003年6月
運行開始年月	2005年9月
メーカー	日本ケーブル

2代目路線の谷川岳ロープウェイ

2005年9月より運行開始した、2代目谷川岳ロープウェイ（初代：3線自動循環式→2代目：2線自動循環式への改造も数えると3代目）。2代目谷川岳ロープウェイは、国内の複式単線自動循環式(フニテル)4本のうち、箱根Ⅰ期線・蔵王に続いて3本目であり、その中で国内最長を誇る。現行線(フニテル)への架け替えは、旧線での営業を行いながら進められたため、旧線と並行する形で新規免許を取得している。ウィンター/グリーン/紅葉シーズンを含め、多くの観光客・登山客・スノーヤーが利用している。



1.谷川岳ロープウェイ



搬器諸元

名称：谷川岳ロープウェイ

定員 22名

台数 ?台

自重 2,200 kg

メーカー CWA

タイプ ZETA 24 PI.

製造年月 2005年9月

握索機 DT



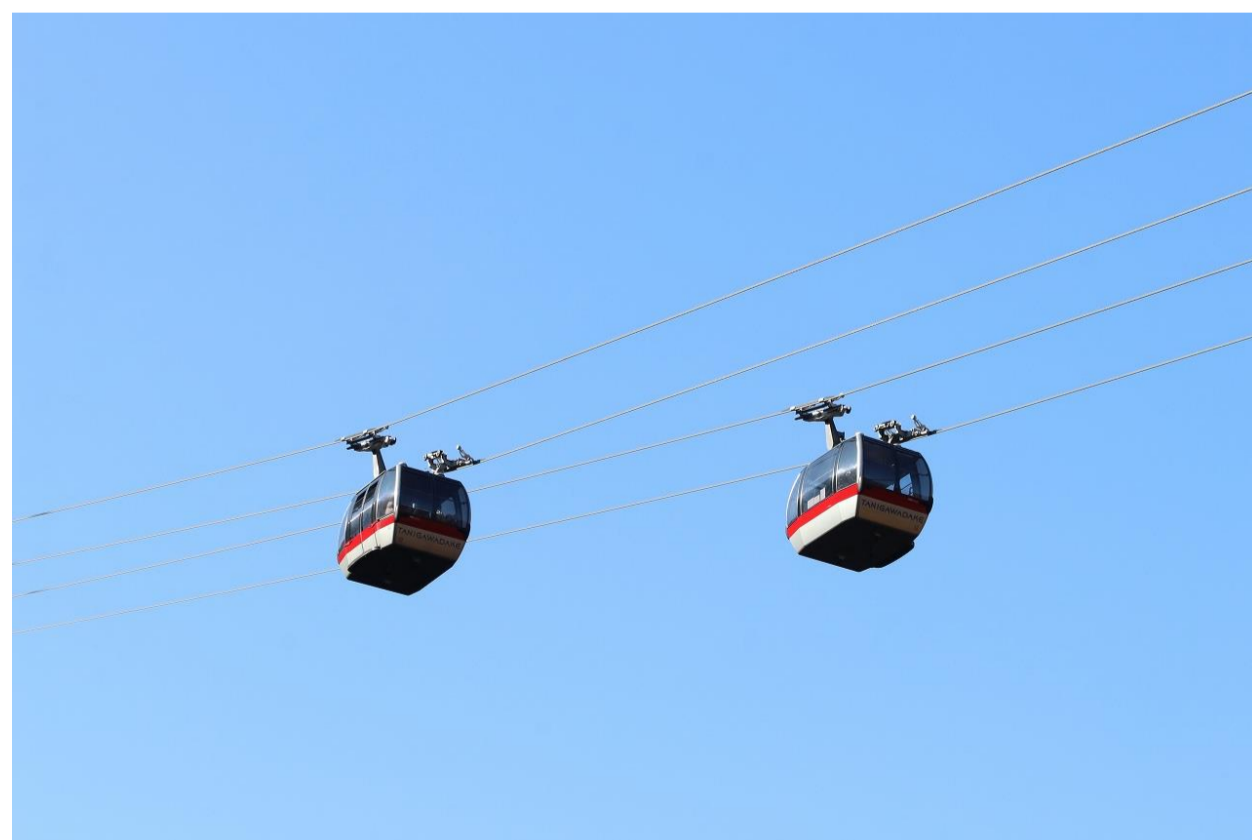
▲シルバーに赤帯のみの控えめなデザイン。先代搬器の塗装を引き継いでいる。



▲紅葉の季節は、特に背景とマッチする配色。



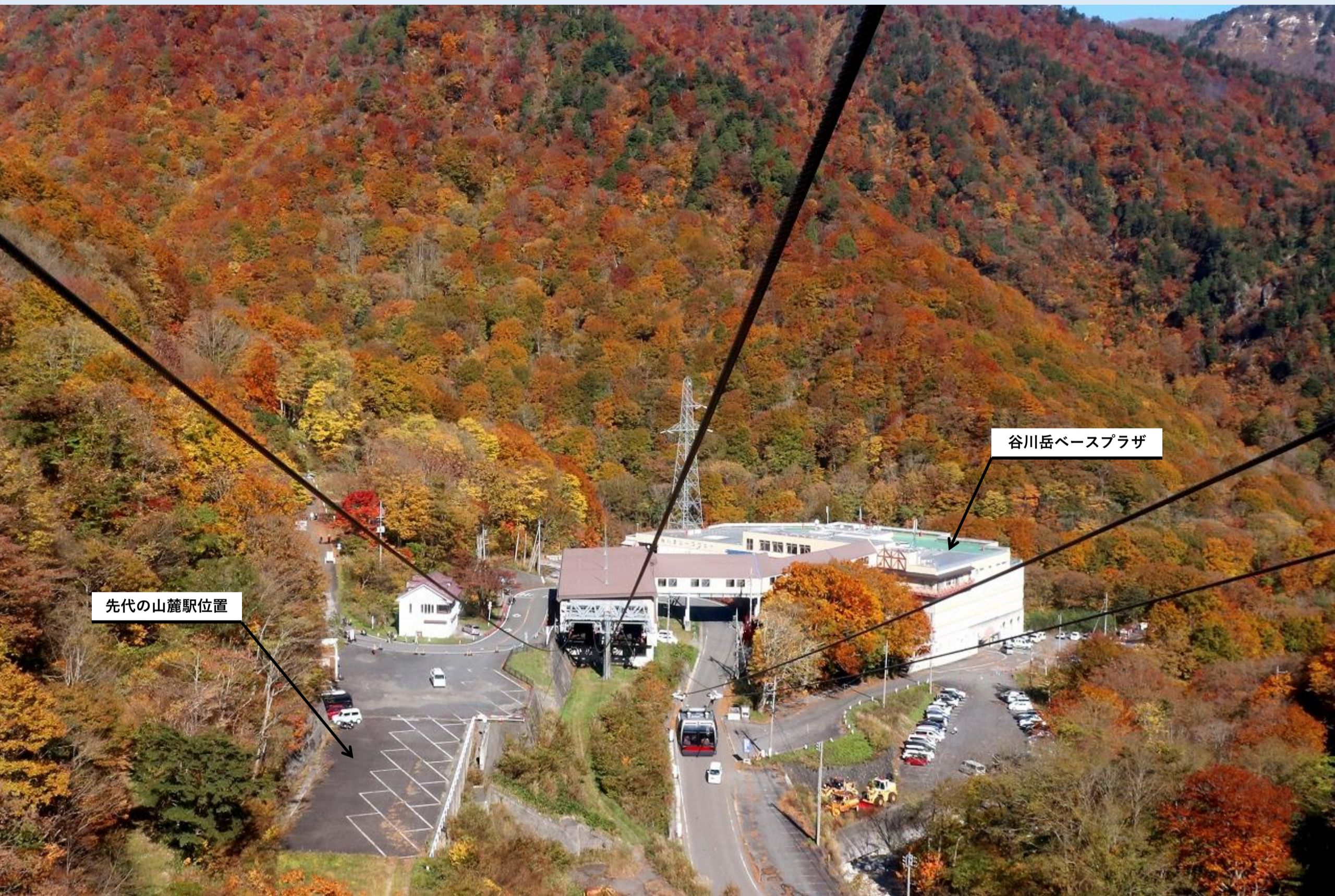
▲トーションバーを採用したDTグリップを2連としたような握索機



▲まるで、空中を飛んでいるかのような印象を抱く。

1.谷川岳ロープウェイ

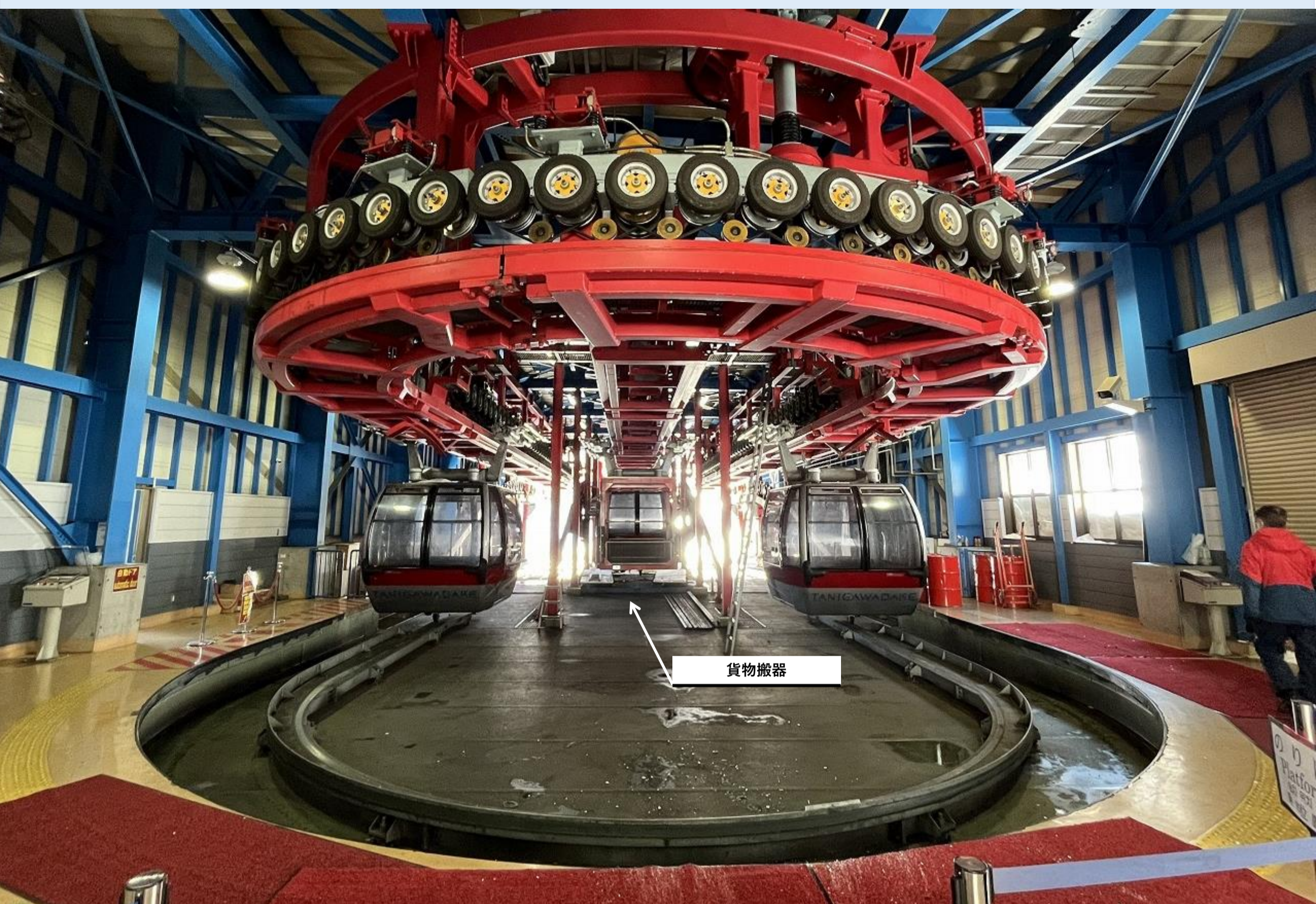
山麓停留所【土合口駅】



1.谷川岳ロープウェイ

山麓停留所【土合口駅】

～場内～



貨物搬器

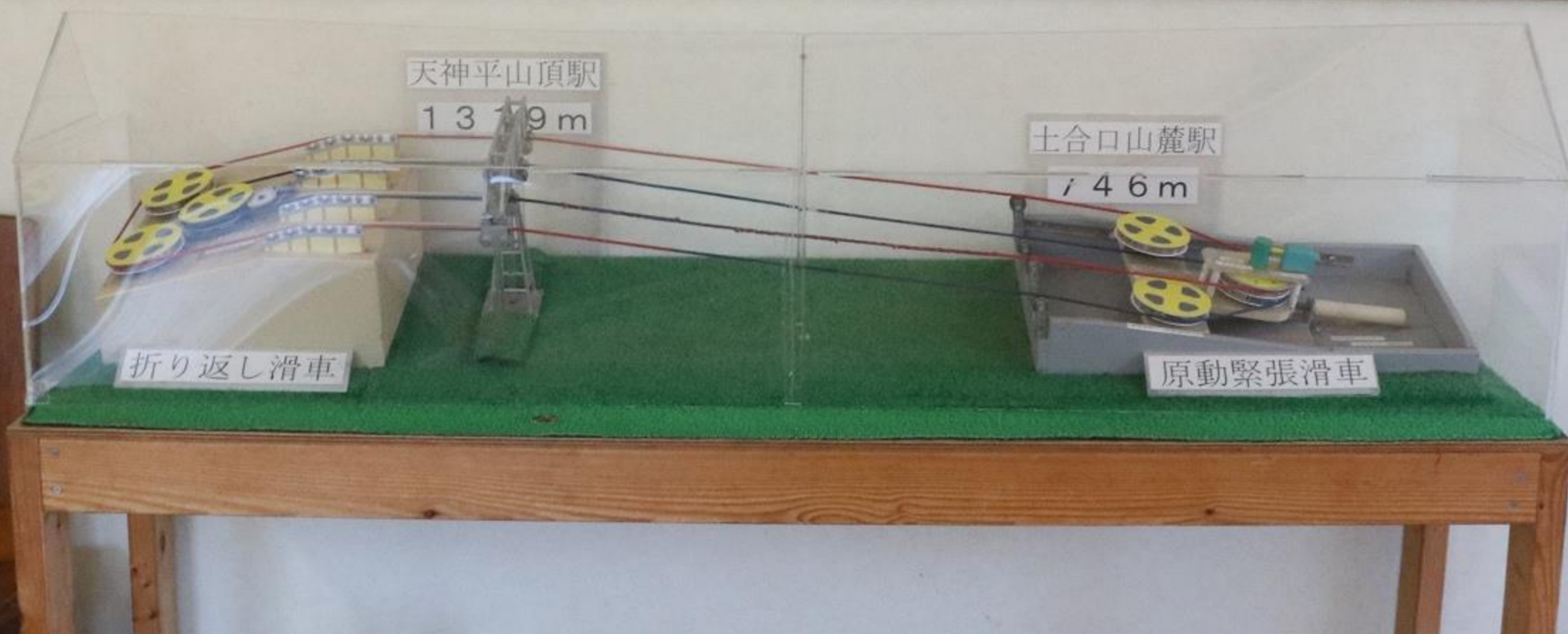
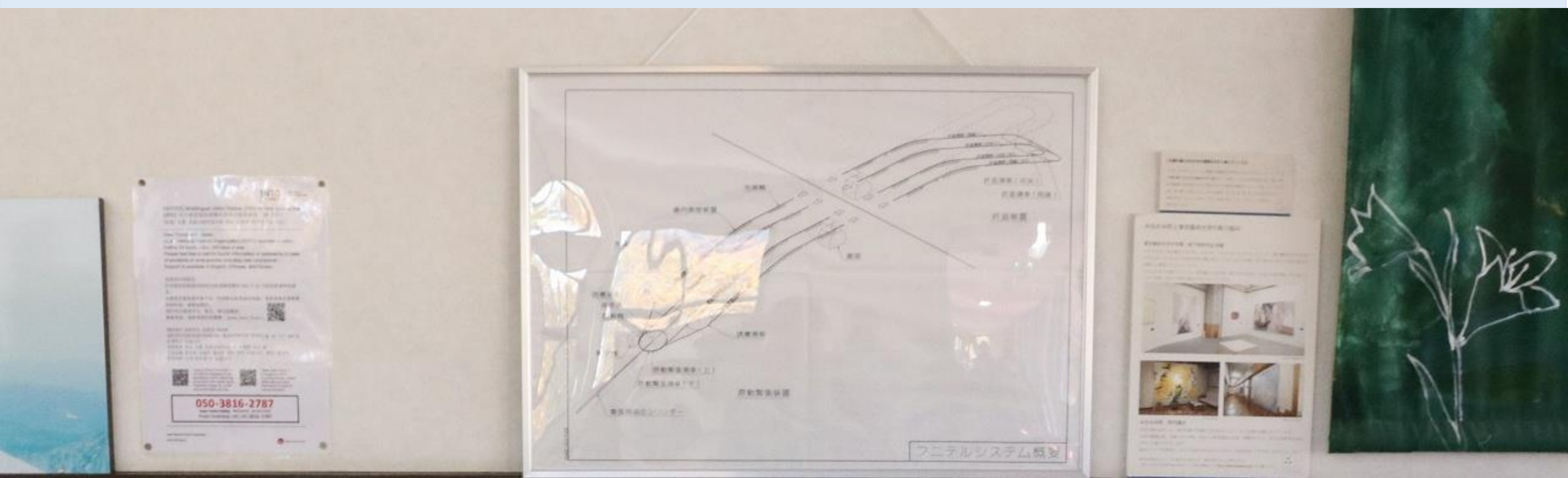


乗り場は2階, 原動緊張滑車は1階にある

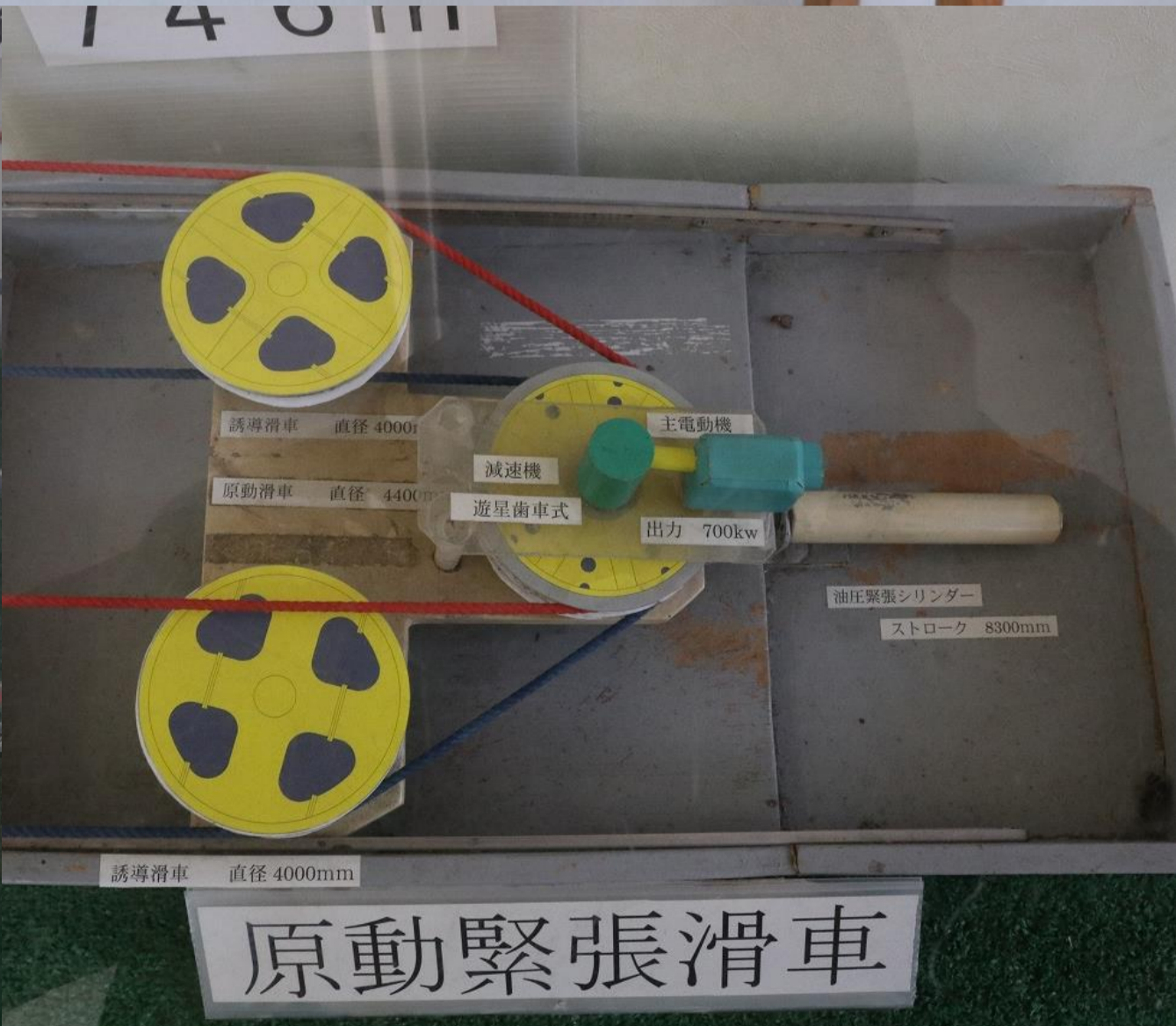
1.谷川岳ロープウェイ

山麓停留所【土合口駅】

～その他(模型)～



折り返し滑車



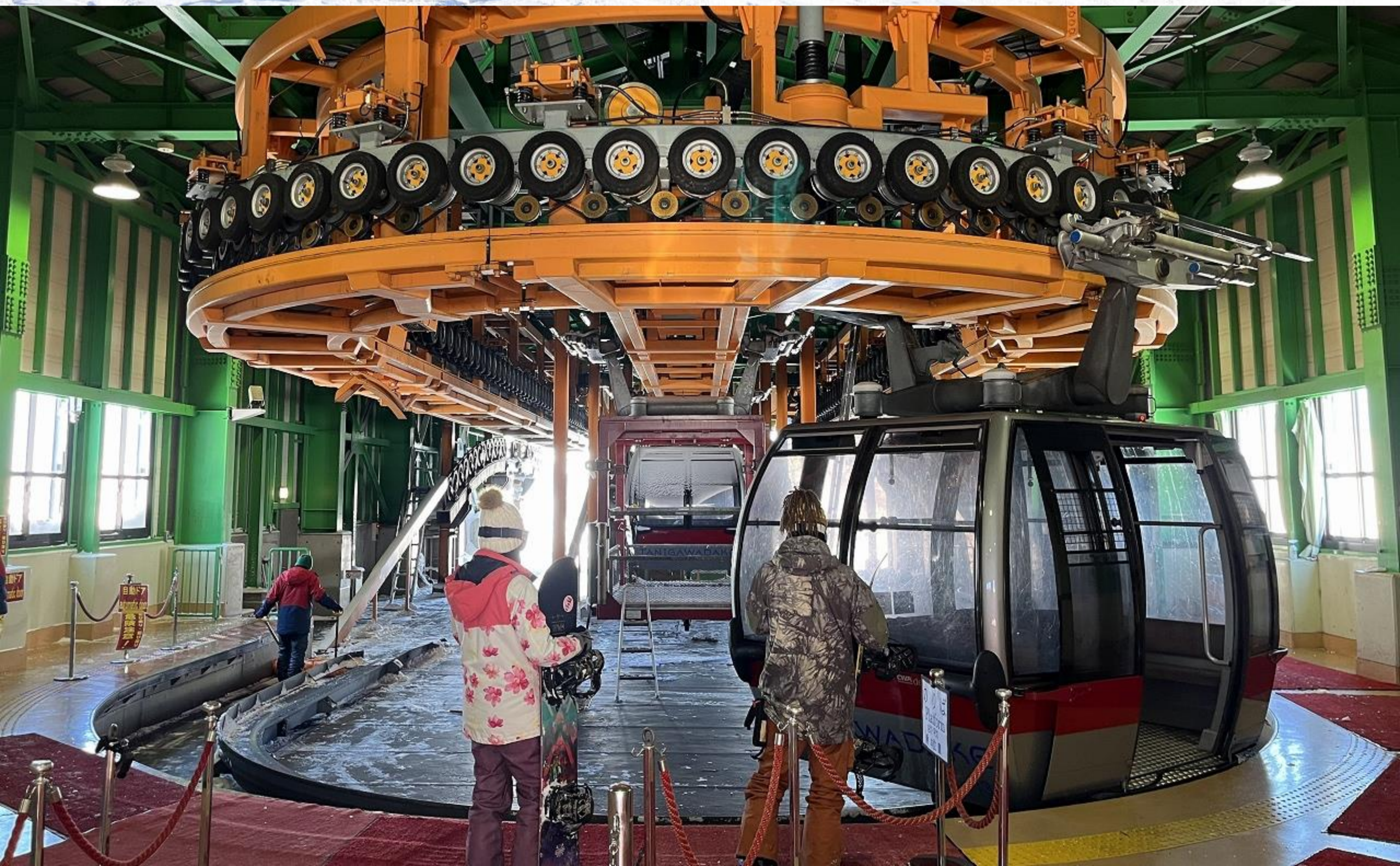
原動緊張滑車

▲折り返し滑車

▲原動緊張滑車

1.谷川岳ロープウェイ

山麓停留所【天神平駅】



1.谷川岳ロープウェイ

山麓停留所【天神平駅】



TANIGAWADAKE ROPEWAY

轨道	倾斜	2399.99 m
最大高低	差	572.75 m
开动速度	度	6.0 m/s
发动	机	630 kW
乘车定员		22
每小时运输量		1164
竣工		2005/09

事業者 谷川岳缆车股份公司
设计・施工 日本电缆股份公司

TANIGAWADAKE ROPEWAY

轨道	全长	2399.99 m
最大高低	差	572.75 m
运行速度	度	6.0 m/s
发动	机	630 kW
乘车定员		22
每小时运输量		1164
竣工		2005/09

사업자 다니가와다케(谷川岳)로프웨이 주식회사
설계·시행 일본케이블 주식회사

带入禁止

因为平安愉快地旅行,禁止带入下列

- 车内带入禁止品
- 火药类
 - 高压气体 (挥发油, 灯油, 酒精类)
 - 可燃性液体 (挥发油, 灯油, 酒精类)
 - 可爆炸性物质 (氯化钙, 过氧化氢)
 - 腐蚀性物质 (苛性钠, 硝酸, 硫酸)
 - 有毒气体
 - 发出恶臭品

*如有不明白的地方敬请指出

TANIGAWADAKE ROPEWAY

线路	倾斜	こう長	2399.99 m
最大	高低	差	572.75 m
运行	速度	度	每秒 6.0 m
原动	機		630 kW
乘车	定員		22 人
每小时	輸送量		1164 人
竣工			2005 年 9 月

事業者 谷川岳ロープウェイ株式会社
設計・施工 日本ケーブル株式会社

駅務室

お

次の事項

- 1、車内では迷惑とな
- 2、危険物の
- 3、10kg いただき
- 4、乗車時、あります
- 5、係員の指

持

1.谷川岳ロープウェイ



1.谷川岳ロープウェイ



▼フニテルのため索輪が多い。

1.谷川岳ロープウェイ（廃止：2代目搬器）



2代目搬器

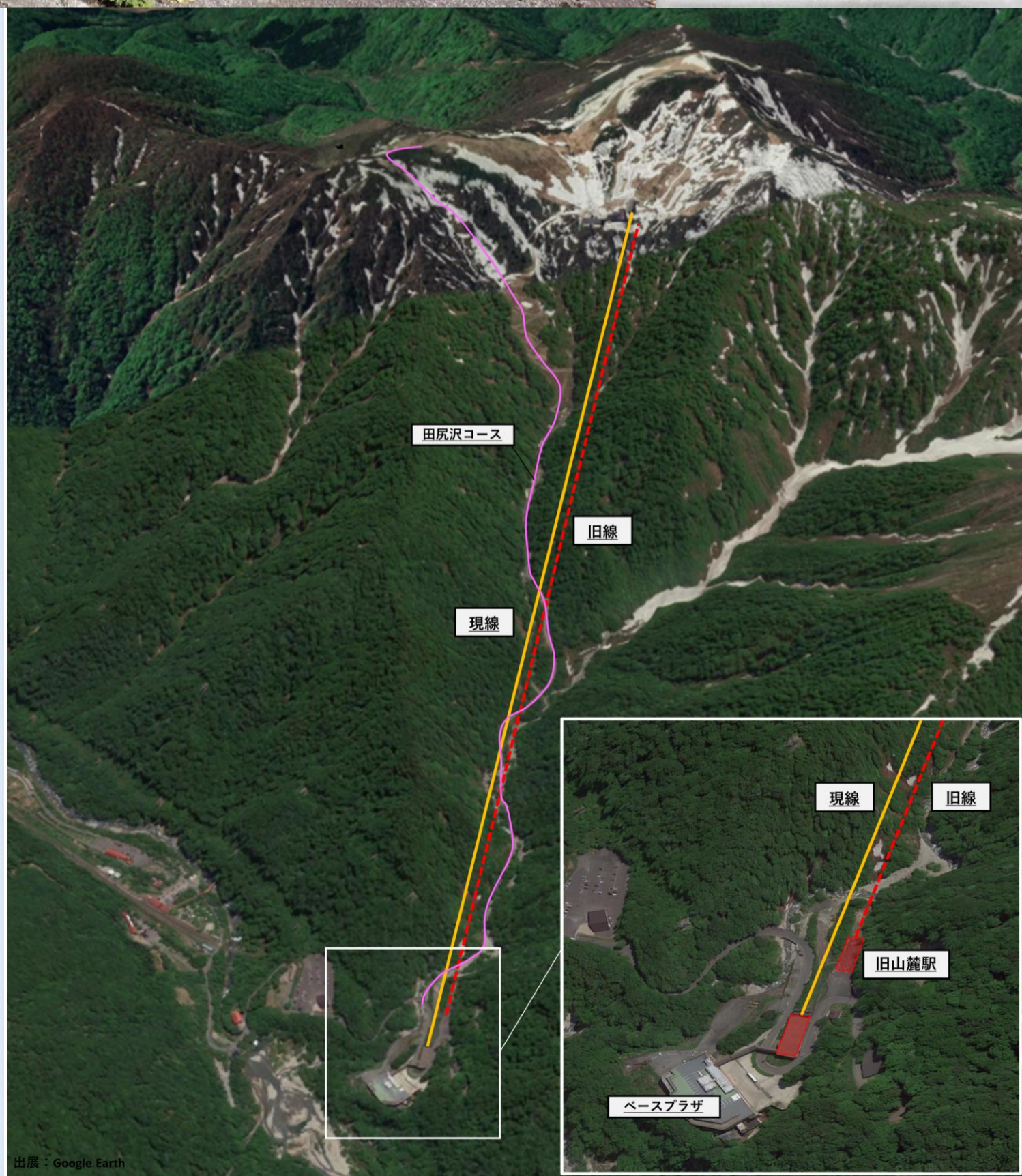
谷川岳ロープウェイ
株式会社
自重 950kg
最大乗車人員 8名
製造年月 昭和60年7月

線路諸元

名称：谷川岳ロープウェイ(初代)

方式	2線自動循環式普通索道
傾斜長	2,297 m
高低差	568 m
輸送能力	? p/h
回転方向	時計
支柱数	8 基
速度	3.0 m/s
定員	8 名
搬器	?(初代 1960~1985) (2代目1985~2005)
原動出力	? kW
緊張方式	?
原動位置	?
緊張位置	?
事業許可年月	1960年3月
運行開始年月	1960年12月
メーカー	安全索道

1985年に3線自動循環式より改造



2.高倉山第1リフト



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：高倉山第1リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	405 m
高低差	125 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	8 基(甲:11基)
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1983年6月
運行開始年月	1983年11月
メーカー	安全索道

2.高倉山第1リフト



▲ペアリフト初期の1980年前半に採用されたポータルドライブ
(デルタステーション)。近年は非常に珍しくなってきた。



2.高倉山第1リフト



▼あまり見かけない甲種支柱



3.高倉山第2リフト



線路諸元

名称：高倉山第2リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	346 m
高低差	102 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	8 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1989年9月
運行開始年月	1989年11月
メーカー	安全索道

▼山麓停留所



▼山頂停留所



3.高倉山第2リフト



3.高倉山第2リフト



4.天神平リフト



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：天神平リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	256 m
高低差	62 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	A:時計, B:半時計
支柱数	5 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	重錘
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1961年10月
運行開始年月	1986年11月
メーカー	安全索道

4.天神平リフト



▼256mと短いリフト。初級者はこのリフトしか楽しめない。



コース出だしは少々急斜面

5.天神峠リフト



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：天神峠リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	428 m
高低差	171 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	18 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1962年8月
運行開始年月	1987年7月
メーカー	安全索道

5.天神峠リフト



▲山頂駅は展望台を兼ねている(冬季は立ち入り禁止)

▼山頂の弁財天



5.天神峠リフト

